

5

2006年

組合広報

NO. 473

よろこばれ 期待され 魅力ある

東京都鍍金工業組合
東京鍍金公害防止協同組合

URL <http://www.tmk.or.jp>

わたしの意見	困難は努力と知恵で… 総財務委員会委員長 篠根健一	1
役員会委員会	理事長日誌、都中央会総会大村会長を再任、理事に姫野副理事長	2
	工組理事会	3
	訃報	5
	亜鉛規制に関し下水道局へ要望	6
	新たな亜鉛規制に関する東京都下水道局への要望趣旨	7
	組合員が環境省「パブリックコメント」に意見提出	8
あなたの予定表	6月の環研・協組集荷日程ほか	9
	毒物及び劇物の販売・「譲受書」の記入と提出について	10
	毒物劇物販売業のてびき	11
	健保第11回ホリデーウォーキング	12
	訓練校6月授業案内	14
	平成18年度毒物劇物取扱者試験の実施について	15
	全鍍連景況調査「東京組合分集計結果」	16
	経産省・中小企業庁「元気なモノづくり中小企業300社」刊行	19
	表団協セミナー「めっきデータベースを活用した将来の中小企業像」	20
	葛飾区優良工場に(株)ヒキフネ認定される	27
	春の叙勲受章者、日本フィルター(株)50周年祝宴	28
	日本鍍金材料協組総会間宮理事長再任、商工会議所受発注商談会	29
お気に入りの散歩道	「そば処」 板倉富美子(城南支部)	30
	多目的コホート研究(2)	
つま恋坂	「G.W.の過ごし方」 野田光昭(本所支部)	32
支部通信	城北支部、城北青年部会、中央支部	33
	向島支部	38
	中小企業の景況	40

困難は努力と知恵で…



総財務委員会副委員長 篠根 健一

東京都鍍金工業組合の皆様ならびに関係各位の皆様には日頃より総財務委員会運営に格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

総財務委員会の職務として、組織体全体の運営に関する事務の処理ならび財政の事務の執行にあります。総財務委員会の職務が多岐にわたり、極めて重要であることに、小澤委員長はじめ委員全員がその職務をつつがなく執行すべく誠意努力をしております。

現在まで皆様のご協力を賜り工業組合、公害防止協同組合の運営も順調に推移しております。また本年の合同新年会も新年賀詞交歓会実行委員会と共に準備を進め、盛況の内に終えることが出来ました。皆様のご理解、ご協力をあらためて感謝申し上げます。

新聞紙上、報道関係では景気は拡大している……、景気判断の各指標もそれぞれが景気拡大の裏付けをしているとの報道がなされています。しかしながら、私達の仲間の業況を見る限り、景気拡大の恩恵を受け、業況が一段と改善している事業所は少ない事が実情ではないでしょうか。業況はいくらか改善しても、まだ水面下……、という声を良く聞きます。

本年度も残念な事に 29 工業組合員の事業所が事業廃止等で工業組合を脱退されて行きました。組合員の減少は組合員の士気、組合運営に多大な影響を及ぼすことは論を待ちません。とりわけ脱退事業所の出資金返却額は本年度 1 千万円を超えました。今後、ひとつの総財務委員会に与えられる大きな課題になる事と思います。

公害防止協同組合についても 17 年度は順調に推移しております。しかしながら景気拡大とは裏腹にシアン廃液の処理量の減少、有価物の含有量の低下から有価物の売却益の減少、設備の老朽化に伴う更新等、課題も発生しております。公害防止協同組合の発展の新たな可能性についても、皆様のご意見とお知恵を頂きながら誠意努力をして行きたいと存じます。多くの諸問題は皆様共に努力と知恵で乗り切っていく事が出来ると確信をしております。

近年、訓練校には若い人達が定員いっぱいまで入校され、勉学に励んでおります。業界の大きなひとつの灯りではないでしょうか……、その人達や事業継承を志す若人の為にも確かな組合運営をして行かなければならないと思っております。

今後とも総財務委員会にご理解とご協力を賜り、ご意見を頂戴できれば幸甚に存じます。

大村理事長日誌



4月

- 4日(火)(独)東京都立産業技術研究センター開所式
訓練校入校式
- 5日(水)正副理事長会・理事会
- 7日(金)経済産業省打合せ
連合青年部会総代会

- 10日(月)環境プロジェクト
- 12日(水)日本フィルター(株)50周年
- 13日(木)全鍍連常任理事会・理事会
全鍍連顧問相談役会
- 14日(金)都中小企業団体中央会総務委員会
東京都高齢者雇用開発協会
- 17日(火)健保組合理事会
- 18日(水)深谷隆司衆議員 25周年記念
- 20日(木)全鍍連総務委員会
都中小企業団体中央会役員合同会
都庁各部局へ「電気めっきガイド」配布
- 21日(金)都中小企業団体中央会幹事会
商工中金打合せ
- 22日(土)保坂三蔵参議員セミナー
- 24日(月)全鍍連監事会
- 25日(火)城北支部総会
- 26日(水)総合表面技術博覧会開会式
正副理事長会・理事会
- 27日(木)玉澤徳一郎衆議員セミナー
- 28日(金)中央支部総会

都中央会総会 大村会長を再任、理事に姫野副理事長

東京都中小企業団体中央会は年5月11日(木)午後1時30分から赤坂プリンスホテル別館5階「ロイヤルホール」で、平成18年度・第54回通常総会を開催した。

総会では平成17年度決算関係書類、平成18年度事業計画等を承認可決したあと、会長、理事及び監事の選挙を行い、会長に東鍍工組の大村功作理事長を再任、理事に姫野正弘副理事長(公防協)が選任された。都中央会の会員数は2,022会員で理事総数は100名、監事3名、評議員75名が指名された。平成18年度の重点実施活動として、巡回を通じた会員組合の充実強化などに力を入れるの方針である。地域産業実態



調査事業としては中小企業労働事情実態調査と組合青年部実態調査を行う方針である。

工組 第7回 理 事 会

事業・決算報告等承認

と き 平成 18 年 4 月 26 日(水)
午後 6 時 30 分～8 時
ところ めっきセンター 4 階会議室
出席者 大村、姫野、由田、川上
八幡 青木
木下、元井、中澤、志田
篠根、小嶋、小澤、神谷
池田、安斎
西田、小橋、荻宿、若山
小谷野、藤田、原、佐藤
池田、吉川、今泉、高松
木下、斎藤、永田、細井
小倉、菊池、山田、岡本
西原、柴
(監事)新井、江原、平野、石川

青木専務理事が定足数を満たしていることを報告、大村理事長が所用により若干出席が遅れるため、姫野副理事長が代わって開会の挨拶をし、議長となり、議事録確認者として、本所支部長の山田英佐夫理事、西部支部長の西原敬一理事を指名し、議事に入った。

1. 平成 17 年度事業報告及び決算報告(案)並びに平成 18 年度事業計画及び収支予算(案)について

前回理事会(4/5)で総代会資料を配布し、本理事会までに内容の確認をお願いしており、青木専務理事からの資料説明は亜鉛の規制基準等などの情勢変化に伴う一部差し替え資料や各要所の重点説明とした。

平成 17 年度事業報告として組合事業実施概況、主要事業、主要会議、委員会活動、庶務事項、決算報告として財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処



分案など各ポイントを説明した。

江原監事は、4月19日午後1時から理事長室において、由田副理事長、青木専務理事の立会のもと監事全員が出席し、財務諸表、各帳票類、預金通帳等、平成18年1月から3月までの会計監査を実施した。その結果特に指摘事項はなかったと、監査報告を行い、承認された。

続いて平成18年度事業計画として組合運営の基本方針(4本柱)、実施事業、委員会活動、収支予算案、資金計画及び経費の賦課並びに徴収方法、借入金額最高限度(前年度同額)、常勤役員報酬限度(前年度同額)などを説明、原案通り承認された。

2. 第40回通常総代会開催について

青木専務理事が開催案内を説明し、原案通り承認された。

開催日 平成18年5月26日(金)

日時 午後4時から5時30分

場所 東京ガーデンパレス

総代会議案書は事前に送付しており、総代会当日持参されるようお願いした。

3. 副理事長候補者等の推薦について

大村理事長から、「現在、副理事長枠6名のうち5名が就任しているが、そのうち1名が健康上の理由で職務に就くことができない状況であり、新たに1名を選任したい。支部から推薦を頂いた、大田支部の志田和陽常任理事を副理事長に、また、吉川進理事を常任理事に選任し、総代会終了以降、職務に就いていただくこととしたい」とはかり、承認された。

(報告事項)

1. 平成18年12支部親睦ゴルフ大会募集について

開催日 平成18年7月2日(日)

開会式 午前8時20分(記念撮影)

場所 プレステージカントリークラブ
(栃木市梓町455-1 TEL0282-31-1111)

参加者 各支部8名以上

募集人員 30組120名。

申込締切 6月2日までに各支部ごとに取りまとめ申込んで頂く。

2. 「化学物質適正管理届出の手引き 平成18年度改正版・めっき編」の配布について

平成13年10月1日から東京都環境確保条例「化学物質の適正管理に関する条項」が施行され、適正管理化学物質を取扱う事業所に対する使用量等の報告、化学物質管理方法書の作成と提出が義務付けられた。東京都環境局環境改善部はこのほど「化学物質適正管理届出の手引き 平成18年度改正版 めっき編」を作成したので、各支部毎に組合員数の1.5倍の部数を配布することとし、各支部に配布方の協力をお願いした。

3. 電気めっきガイド追加申込みについて

全鍍連がこのほど「電気めっきガイド(改訂版)」を発行した。東京組合割当分として、組合員数×2冊を工業組合が購入し、組合員各位に無料で1冊を配布した。さらに追加購入希望には仕入原価(3000円)で販売するので、申込書により組合事務局までお申込み頂くようお願いをした。なお、員外販売価格は1冊5000円。

4. ほう素・ふっ素等の排水濃度調査(全鍍連)の回答状況について

青木専務理事から、当初4月28日締切りでお願いしていたが、回答率が34.6%に止まっており、提出期限を5月18日まで延長したのでより多くの回答を頂くようお願いした。なお昨秋の東京組合回答率は68.6%であり、前回以上の回答を頂くよう協力を要請した。

川上副理事長から、暫定基準の再延長をお願いする資料を作っており、回答率の向上に協力をお願いしたいと補足した。

5. 年間行事予定表

現在から6月2日までの組合行事予定を報告した。

このあと、公防協組理事会、十日会賞選考委員会が行われた。

訃 報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

野口満里子様 (大田支部・(有)朝日電工所野口哲也社長の令夫人)3月24日直腸ガンのため死去、60歳。告別式は26日正午から大田区久が原の安詳寺で行われた。喪主は哲也氏。

竹内和子様 (全鍍連理事・愛知組合副理事長・(株)サーテックカリヤ竹内克弘社長のご母堂)3月28日死去、86歳。告別式は4月2日刈谷市青山町の青山斎園で行われた。喪主は克弘氏。

小林愛子様 (向島支部・竹内工業(株)小林徹社長のご母堂)3月31日心不全のため死去、82歳。告別式は4月4日午前10時から柏市旭町の(株)セレモ柏ホールで行われた。喪主は徹氏。

田村テル子様 (城北支部・(有)田村化学工業・田村卓也社長のご母堂)4月1日心不全のため死去、82歳。告別式は6日午後10時から町屋斎場で行われた。喪主は夫の哲夫氏。

鶴尾安信氏 (葛飾支部・ツルオ鍍金工業所社長)5月4日午前4時、呼吸不全のため死去、76歳。告別式は7日午前10時から四ツ木斎場で行われた。喪主は令夫人の寿江様。

鶴尾氏は長年にわたり本部理事、監事、環境委員を務め、組合運営に尽力された。

石川志津江様 (城北支部・(株)三恵工業所石川潔社長のご母堂)5月7日肝硬変のため死去、81歳。告別式は12日午前10時から町屋斎場で行われた。喪主は石川雅一氏。

鈴木 清氏 (西部支部・(有)多摩鍍金工業所社長)5月8日死去、83歳。告別式は11日午後12時30分から八王子市大楽寺町のセレモアつくば八王子会館で行われた。喪主は長男の清次氏

亜鉛規制に関し下水道局へ要望

東京都鍍金工業組合は5月8日(月)午後4時から都議会自民党会議室で同党鍍金振興議員連盟議員の先生をまじえて東京都下水道局と新たな亜鉛規制について懇談し、条例による上乗せを行わないよう要望した。

当日は鍍金振興議連の大西英男会長、松原忠義幹事長、下水道局から施設管理部・大西登喜雄担当部長、施設管理部排水設備課・井坂昌博課長、環境管理課・松島修課長、排水設備課・高島正行課長補佐、組合から大村功作理事長、姫野正弘副理事長、川上洋一副理事長、八幡順一副理事長、青木治郎工組専務理事、小原俊幸協組専務理事が出席した。

懇談は始めに自己紹介を行い、川上副理事長が業界の実情を説明した。大村理事長は国の亜鉛排水基準の改定について、審議会の改定案では一律排水基準が現行の5mg/Lから2mg/Lに改定方向になっているが、日量排水量50m³以上の適用となっており、下水道条例でも現行の排水基準(5mg/L)とされるよう強く要望した。要望内容は次の通り。



新たな亜鉛規制に関する東京都下水道局への要望趣旨

東京都鍍金工業組合

1. 水生生物保全のための亜鉛の排水規制について

これまで、環境省所管の中央環境審議会の専門委員会において審議がおこなわれてきたが、専門委員会の報告を受けて、4月28日に開催された同審議会水環境部会において下記の案が承認された。今後、環境大臣へ答申され、排水基準の改定がおこなわれる見込みである。

▽一律排水基準 亜鉛 2mg/L(1日当たりの平均的な排出水の量が 50m³以上である特定事業場に適用するものとする)

▽電気めっき業に対する暫定排水基準(5年間) 亜鉛 5mg/L(注:現行と同じ)

2. 「50m³未満は排水規制対象外」が原則

水質汚濁防止法第4条の5第1項及び同法施行規則第1条の4は、規制対象は1日当たりの平均的な排出水の量が 50立方メートル以上と定めている。

3. 条例による、いわゆる「上乘せ規定」について

下水道法第12条の10は、公共下水道管理者は基準に適合しない下水を排除して公共下水道を使用する者に対し、条例で、必要な措置をしなければならない旨を定めることができる、と定めている。

この規定に基づいて、東京都下水道条例第11条の2で、別表4に定める基準に適合する水質の下水にして排除しなければならないと定めている(銅 3mg、亜鉛 5mg、クロム 2mg など)。

この表では、フェノール類、鉄、マンガンなどの物質については、1日当たりの下水の平均的な排出量が 50m³未満の使用者については、適用しないと定めているが、銅、亜鉛、クロムには除外規定がないため 50m³未満でも適用される。

これは、銅、亜鉛、クロムについては、下水処理場では終末処理が困難な物質なので、個々の公共下水道使用者に基準を守らせるべく、50m³未満でも規制対象としているものである。

4. 亜鉛規制に関する東京都下水道局への要望

今後、国において亜鉛の一律排水基準が現行の「5mg/L」から「2mg/L」に改定された場合、東京都下水道条例も1日当たりの平均的な排出量が 50m³以上の事業場については「5mg/L」から「2mg/L」に改正されると思われる。しかし、1日当たりの平均的な排出量が 50m³未満の下水道使用者については、都が独自に規制対象としているのだから、引き続き「5mg/L以下」の一律排水基準とするよう、東京都下水道条例に規定していただきたい。(⇒国の「暫定排水基準」の動向の如何に関わらず。)

新たな亜鉛の排水規制に対し 組合員が環境省「パブリックコメント」へ意見提出

環境省所管の中央環境審議会の専門委員会において審議が行われ、専門委員会の報告を受けて、4月28日に開催された同審議会水環境部会において次の案が承認された。今後はパブリックコメント(案の公表及び国民一般からの意見聴取)の手続きを経て、環境大臣へ答申され、排水基準の改定が行われる見込みである。

▽一律排水基準 亜鉛 2mg/L(1日当たりの平均的な排水の量が 50m³以上である特定事業場に適用するものとする)

▽電気めっき業に対する暫定排水基準(5年間) 亜鉛 5mg/L(注:現行と同じ)

東京都鍍金工業組合の組合員が環境省のパブリックコメントに対し、業界の厳しい実情を訴え、現行の 5mg/L を継続するようコメントを提出した。

排水規制値 2mg/l について

当社は全従業員 13 名の小規模鍍金専業加工業者です。

亜鉛の排水規制が強化され、排水基準を一律 2mg/l にすると答申されていますが、当社のような小規模鍍金加工業者にとりましては重大な問題であります。東京都内で操業しているため、現在でも排水基準 5mg/l が課せられていますが、これをコンスタントにクリアするのも大変に苦労しています。

当社は亜鉛めっきを行っているわけではなく、あくまでも被めっき物素材である真鍮などからの溶出分からであるにもかかわらず、この実態です。また、1日の排水量は約 10m³程度ですので、仮に亜鉛 5mg/l の排水を排出しているとした場合、1日 50g の亜鉛を環境に排出していることとなります。これを 2mg/l、つまり 1日 20g までおさえるには(コンスタントにコントロールするには)、現状の処理施設、工程ではとても困難です。かといって、水量を増やして、うすめて排出するわけにもいかず(有料の上下水道を使用しているため)、また総排出量という観点からは環境保全には無意味に思えます。

処理施設を更新する、あるいは大幅に改善するには相当な経済的負担をうけることが予想され、大打撃です。現在の経済状況では、国際的競争力はさらに悪化し、廃業も視野にいれなければならない事態です。

5年間の暫定措置(5mg/l)が設けられるという配慮には感謝いたしますが、これもあくまで暫定で5年後どうなるかという不安が常につきまとうことになると思います。

東京都では当社のような小規模工場が約9割だとききます。どうか、この実態と国際的競争力の低下をご考慮いただき、現状の 5mg/l を継続いただきますよう、再検討を強く要望いたします

6月 あなたの予定表

日	曜	役員会・委員会他	環研集荷(ブロック長)	協 組 集 荷	メ モ
1	木			城東支部	
2	金		大田支部	葛飾支部	城西支部総会・40周年
3	土				
4	日				
5	月			城北支部	
6	火		品川支部・大田支部	中央支部	
7	水			目黒・世田谷地区	
8	木		城南支部		
9	金			葛飾支部	
10	土				
11	日				
12	月		城西支部	足立支部	
13	火	広報委員会			
14	水		城西支部・城北支部	西部支部	
15	木				
16	金		中央支部・本所支部	葛飾支部	
17	土				
18	日				
19	月			品川地区	
20	火		向島支部		
21	水			向島支部	
22	木		西部支部	本所支部	
23	金			葛飾支部	
24	土				
25	日				
26	月		城東支部・葛飾支部	蒲田・大森地区	
27	火			城西支部	
28	水		葛飾支部		
29	木				
30	金		足立支部	葛飾支部	

(役員会・委員会は変更する場合がありますので、本部からの通知をご確認ください)

組合員各位

平成 18 年 4 月

毒物及び劇物の販売について

～「譲受書」の記入と提出について～

東京都鍍金工業組合
総務課

拝啓 春暖の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 17 年度に毒物及び劇物取締法により保健衛生上の見地から必要な取締りがされています。

この度、当該組合といたしましても、「亜鉛試薬」と「鉛試薬」を購入される組合員の方々から「譲受書」を提出していただくこととなりました。

上記の試薬を購入(注文)の際は、必ず先に「譲受書」をご記入の上、組合まで FAX で送付して頂きたいお願い致します。敬具

譲 受 書

毒物及び劇物の購入にあたり、下記の譲受書を提出いたします。

毒物及び劇物譲受書		
毒物及び劇物名 (薬品名に○印と数量を記入 してください)	名 称	亜鉛試薬 ・ 鉛試薬
	数 量	個
販売または授与の年月日		年 月 日
譲受人 (法人にあっては、その名称 及び主たる事務所の所在地)	氏 名	①
	社 名	
	住 所	
備 考		
伝票番号		No.

※このご案内は、過去1年以内に「亜鉛試薬」「鉛試薬」を購入された組合員にお送りしています。また、お送りした譲受書は原本とし、コピーで申し込みをして下さい。

毒物劇物販売業のてびき

平成17年改訂版(文京区文京保健所)

○毒物、劇物の譲渡手続き

ほかの毒物劇物業者に販売するか、授与したとき、次の事項を書面に記載しなければなりません。また、毒物、劇物を毒物劇物業者以外に販売するか、授与するとき、譲受人が押印した下記の様式例の書面「譲受書」の提出を受けなければ、販売、授与ができません。書面は、5年間保存してください。

- ①毒物、劇物の名称と数量
- ②販売または授与の年月日
- ③譲渡人の氏名、職業、住所(法人にあっては、その名称と主たる事務所の所在地)

毒物及び劇物譲受書		
毒物または劇物	名 称	
	数 量	
販売または授与の年月日	年 月 日	
譲受人 (法人にあっては、その名称 及び主たる事務所の所在地)	氏 名	印
	職 業	
	住 所	
備 考		

○毒物、劇物の交付について

- ①毒物劇物業者は、交付を受ける人の氏名、住所を確認した後でなければ、引火性、発火性、爆発性のある毒物、劇物を交付できません。交付を受ける人の氏名、住所を記載する帳簿を備え、記載をします。帳簿を5年間、保存しなければなりません。
- ②販売する際に利用目的を聞き取り、毒物、劇物の種類や量が適当であるかを確認し、不審を感じたら販売せずに警察へ連絡してください。
- ③18歳未満の人や、麻薬、大麻、あへん、覚せい剤の中毒者、その他厚生労働省令で定めるものには交付できません。

○譲受人に対する情報提供

毒物、劇物を販売するか、授与するときは、販売し、または授与するときまでに、譲受人に対し、当該毒物または劇物の性状及び取扱いの情報を提供しなければなりません。情報の内容は、次のとおりです。ただし、1回につき200mg以下の劇物の販売や授与をするときを除きます。

- ①情報を提供する毒物劇物業者の氏名、住所(法人にあっては、その名称と主たる事務所の所在地)、②毒物、劇物の別、③名称、成分と含量、④応急措置、⑤火災時の措置、⑥漏出時の措置、⑦取り扱い、保管上の注意、⑧暴露の防止、保護のための措置、⑨物理的、化学的性質、⑩安定性、反応性、⑪毒性に関する情報、⑫廃棄上の注意、⑬輸送上の注意

○保管と管理

- ①管理簿を作成し、定期的に在庫量を確認してください。
- ②かぎの管理者を決めて、かぎの管理を徹底してください。
- ③毒物劇物危険防止規定を整備し、従業員へ周知してください。

社内連絡体制、緊急連絡網の整備、在庫の管理、貯蔵設備、取り扱い、応急の措置・廃棄、自己点検表、教育及び訓練等を規定してください。

○廃 棄

毒物、劇物のまま廃棄はできません。中和、加水分解、酸化、還元、希釈等を行う必要があります。毒物及び劇物取締法関係法令だけでなく、水質汚濁防止法、下水道法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等にも適合しなくてはなりません。

自治体では、毒物、劇物の収集、回収はしていません。

自己処理ができない場合は、有償で廃棄物処理業者へ廃棄の委託ができます。

健保第 11 回ホリデーウォーキング

関東めっき健康保険組合の第 11 回ホリデーウォーキングが 4 月 16 日(日)、小雨模様のあいにくの天気であったが、大森駅から古き佳き昔ながらの面影を残している旧東海道を品川駅まで歩くコースを、被保険者等 176 名以上が元気に参加した。

コースは、大森駅→鈴ヶ森刑場跡→しながわ区民公園(しながわ水族館・勝島の海)→浜橋→鮫洲八幡→品川寺(江戸六地藏・東海七福神)→長徳寺(品川の閻魔様)→品川神社(富士塚・板垣退助墓所)→品川宿本陣跡→品川セントラルガーデン(ゴール受付)の約 7 km。

大森駅前で受付して歩き出すと間もなく第一京浜沿いの第一のポイント「鈴ヶ森刑場跡」に出た。江戸時代の処刑跡には多くの供養塔が並んでおり、お祈りをして次のポイントへ向かった。しながわ区民公園、勝島運河沿を経て旧東海道を品川駅へ、それぞれ見どころを見学しながら約 3 時間歩き続けて品川セントラルガーデンの健保組合受付に到着、完歩証とホテルでの食事券をいただいてウォーキングを終了、心地よい汗を流した。それぞれのポイントを写真で紹介する。



(大森駅前の受付)



鈴ヶ森刑場跡：小塚原と並ぶ江戸時代の御仕置場(処刑場)、「南無妙法蓮華経」と刻んだ石碑は歌舞伎や浮世絵によく登場する。



鮫洲八幡神社：地元漁師たちが寄進した狛犬や灯籠など珍しいものが多い。



しながわ区民公園：昭和 62 年開園、勝島の海を中心に砂浜や松林で海岸風景を再現した庭園。南端にしながわ水族館がある。



荏原神社(目黒川を渡ったところ)：奈良時代の創建。源頼義・義家が阿部一族を討つ際、府中の大国魂神社とこの社を参詣し、品川の海に出て戦勝を祈願した。



勝島運河：河川敷には沢山の種類の花が咲き、目を楽しませてくれる。品川風景百選。



品川神社：徳川家ゆかりの社。境内には宝物殿や富士塚、板垣退助の墓所などがある。

6月 高等職業訓練校授業案内

授業日(火・金)			授業時間(A:14:00～17:00 B:17:00～20:00 C:17:00～20:30)	
日	曜	時	科目	内容(予定)
2	金	A	電気工学③ (電気工学概論)	ブリッジ回路、電力と電力量、単位、回路計測など。 東海情報サービス(株) 石川 進
		C	実技(基本3)	ニッケルめっきのハルセル試験:光沢剤過剰の働き等。 東京都立産業技術研究センター 水元和成、鍍金組合 環研
6	火	A	と粒・研磨加工① (金属加工法)	と粒加工の意味、目的、種類、研削と研磨、バフ研磨、バレル研磨、ブラスチング研磨。 星野技術事務所 星野芳明
		C	実技(基本4)	ニッケルめっきのハルセル試験:金属不純物の影響と除去。 東京都立産業技術研究センター 吉本圭子、鍍金組合 環研
9	金	A	と粒・研磨加工② (金属加工法)	バフ研磨各論、バレル研磨各論、噴射加工各論、表面あらさの定義。 星野技術事務所 星野芳明
		C	実技(応用3)	亜鉛めっき液とクロメート液の調製 東京都鍍金工業組合 環研
13	火	A	加工図面の読み方① (生産工学)	平面図面を立体的に読む方法、電流分布、電流量を求める。 (有)テック 岩永正彦
		C	実技(基本5)	亜鉛めっき液のハルセル試験:浴の種類による違い。 東京都鍍金工業組合 環研
16	金	A	加工図面の読み方② (生産工学)	立体的製品を平面に書く方法など。 (有)テック 岩永正彦
		C	実技(基本6)	自由実験(自社めっき液のハルセル試験) 東京都立産業技術研究センター 土井 正、鍍金組合 環研
20	火	A	腐食防食① (電気化学)	金属腐食の経済面、電気化学的腐食、局部電池等。 矢部技術事務所 矢部 賢
		B	ハルセル試験③ (金属表面処理法)	ハルセル試験のまとめ、ハルセル試験の応用。 【定期試験①】 東京都立産業技術研究センター 土井 正
23	金	A	腐食防食② (電気化学)	めっきの腐食と耐食性、貴金属と卑金属、陽極腐食等。 矢部技術事務所 矢部 賢
		B	亜鉛・亜鉛合金めっき ①(めっき法)	亜鉛めっきの目的、特性、耐食性、用途、亜鉛めっき概論。 (株)梅田鍍金工業所 永田一雄
27	火	A	めっき設備① (生産工学概論)	溶剤洗浄・アルカリ加温洗浄・電解洗浄、酸洗浄設備、めっきの前処理設備。 (有)テック 岩永正彦
		B	亜鉛・亜鉛合金めっき ②(めっき法)	シアン化浴のめっき条件、管理条件、ジンケート浴のめっき条件、管理条件等。 日本表面化学株 山室正明
30	金	A	めっき設備② (生産工学概論)	手動自動めっき設備の種類と特徴、局所排気装置、水洗設備、熱交換器、電源。 (有)テック 岩永正彦
		B	亜鉛・亜鉛合金めっき ③(めっき法)	塩化浴のめっき条件、管理条件、亜鉛合金めっきのめっき条件、管理条件等。 日本表面化学(株) 山室正明

※聴講料は1科目クーポン券3枚または7500円

平成 18 年度毒物劇物取扱者試験の実施について(東京)

1. 試験の日時及び場所

期 日 平成 18 年 7 月 9 日(日)
時 間 筆記及び実地午前 10 時から正午まで
場 所 早稲田大学 10 号館(新宿区西早稲田 1-6-1)

2. 受験願書受付

窓 口 平成 18 年 5 月 29 日(月)から 6 月 2 日(金)
郵 送 平成 18 年 5 月 22 日(月)から 6 月 2 日(金)
場 所 東京都福祉保健局健康安全室薬務課薬事免許係
(新宿区西新宿 2-8-1)

3. 願書配布場所

受験願書の用紙は、薬事免許係で配布。また当組合でも配布します。
願書は、インターネットからダウンロードできます。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/yakumu/dokugeki/shiken.html>

4. 受験手数料 12,900 円

所定の納付書により、指定金融機関に納付してください。

納付期間=平成 18 年 5 月 8 日～6 月 2 日

5. 提出書類

- ①受験願書 記入例の通り記入して下さい。
- ②領収証書 (金融機関の領収印が押されたもの)願書の裏面に貼付して下さい
- ③写真(縦 5cm×横 4.5cm)をはること
- ④受験票
- ⑤【希望者のみ】結果通知送付用封筒(80 円切手貼ること)

※不備の場合には受付できませんので、ご注意下さい。

6. 合格発表 平成 18 年 7 月 24 日(月)

※東京近県の試験案内 詳しくは直接お問合せ下さい。

【神奈川県】神奈川県保健福祉部薬務課薬事・安全情報班 Tel.045(210)1111(代)

願書受付期間 5 月 29 日(月)～31 日(水)

試 験 日 6 月 18 日(日)神奈川大学横浜キャンパス

受験願書 インターネットからダウンロードできます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/siken/yakumu/dokugekisiken/dokugekisiken.html>

【千葉県】千葉県健康福祉部薬務課薬事審査指導室 Tel.L043(223)2618

発表 5 月末頃 試験日 7 月下旬～8 月中旬

http://www.pref.chiba.jp/syozoku/c_yakumu/dokugeki/dokugekisiken2.html

【埼玉県】埼玉県保健医療部保健医療政策課 Tel.048(830)3523(代)

発表 9 月 1 日(金)予定 試験日 10 月下旬から 11 月頃

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A04/BA00/shiken/dokubutu.html>

全鍍連景況調査

東京組合分集計結果

全国鍍金工業組合連合会はこのほど平成 17 年度第 4 四半期景況調査結果をまとめ発表した。東京組合分(対象 65 社 回答率 46.1%)の調査結果は次の通り。

1. 売上高 D I 指数(D I = 増加-減少) △30 となり、前回調査△22 より 8 ポイント改善
2. 受注量 D I 指数(D I = 増加-減少) △20 となり、前回調査の△13 より 7 ポイント改善
3. 受注価格 D I 指数(D I = 上昇-低下) ▲7 となり、前回調査の▲13 より 6 ポイント改善

景気回復がまだら模様で、その実感を持たない地方圏や中小企業では、新たなゼロ金利政策の解除を容認できない経営環境も浮き彫りとなっている。

また、業界別では全体的な景気の底上げに至っていないことが調査結果で示されている。現状では、原油価格高騰や金属材料価格等の影響により、収益力の低下を余儀なくされている。政府系金融機関の調査によると関東甲信越の動向は概ね次の通りである。

- 全体的な景況感は回復。
- 雇用環境が改善、所得も増加していることを背景に個人消費も緩やかに回復。
- 新たに開通した路線沿線で住宅建設が増加。
- 企業部門では、海外向けが好調な半導体・同製造装置の生産が増加、設備投資も高水準の企業、収益を追い風に幅広い業種で増えるなど、景気回復の裾野が広

がっている。○半導体製造装置や自動車部品加工用を中心に引き合い堅調。

○その他の工作機械では、国内やアジア市場での需要拡大を受け、設備投資を積極化する動きがみられ、受注は増加基調。○電気機械器具製造は、デジタル関連(薄型テレビ、携帯電話等)向け電子部品の受注の需要増に加え、生産の国内回帰の動きから高水準が続いている。

4. 金属仕入価格 D I 指数(D I = 低下-上昇) ▲97 となり、前回調査▲91 より 6 ポイント悪化。

5. 薬品仕入価格 D I 指数(D I = 低下-上昇) ▲80 となり、前回調査の▲70 より 10 ポイント悪化。

非鉄金属価格の高騰が、経営環境にとって深刻な問題になっている。今年 1 月に入り先進国の利上げの影響などから一進一退であったが、3 月後半から大幅に上昇した。その要因として、

○世界景気の拡大による需要増加観測が強まっていること。

○亜鉛、ニッケルを中心に供給懸念が出ていること等が材料視されている。

利上げ観測が強まれば、非鉄金属価格の押上げ材料になるだろうが、全体的に在庫水準が低い場合、世界景気の拡大による需要増加観測及びストライキなどによる供給懸念により、今後とも押し上げられやすい状況が続くと予想される。

例えば、銅については、全体的に生産が減少しており、インドネシアの銅鉱山

での地滑り事故、メキシコの鉱山でのストライキ、チリの鉱山での電力障害等々がマイナス材料に。ニッケルについては、ステンレス鋼の需要や航空機用の超合金向けの需要などの増加が見込まれ上昇基調に。特に 2006 年も中国を中心に需要が拡大すると見込まれ、当面も底堅い推移が予想される。

亜鉛については、銅と同様、需要増加観測や供給懸念により、相場は押し上げられやすい状況になってきている。亜鉛の原料は世界的に不足しており、鉱山の開発の遅れによって亜鉛在庫は前年同期の半分以下の水準となっている。これも世界最大の消費国である中国を中心に、自動車、電気機器、建築資材のめっき向けの需要が増大しており、需要の増加に供給の増加が追いつかず、当面は底堅い推移が予測される。

6. 収益状況 D I 指数(D I =好転-悪化)

▲20 となり、前回調査の▲9 より 11 ポイント悪化。

7. 資金繰り D I 指数(D I =好転-悪化)

0 となり、前回調査の▲22 より 22 ポイント改善

金属価格の上昇がそのまま収益を悪化させ、原材料調達コストがかさんでいる結果となった。また、ドバイ原油の相場が今年に入って 57~58 ドルを中心にした往来相場が続いていたが、4月に入って急伸しており、73 ドルと史上最高値を更新している。海外原油はさらに高値を迫る可能性が強く、つれて国内相場も一段と上昇しそうである。国内の需要は特

に逼迫しておらず、ガソリンも品薄にはなっていないが、これからガソリンの需要期に入るうえ、精製設備等の定期修理が重なり、需給が締まりそうなことも懸念される。

8. 従業員数 D I 指数(D I =増加-減少)

△3 となり、前回調査の▲13 より 16 ポイント増加。

9. 設備投資計画 D I 指数(D I =有る-無し)

△3 となり、前回調査の▲9 より 12 ポイント改善。

中小企業の設備投資について、シンクタンクによる調査によると、
○今後の経営方針について、4分の1の中小企業が事業を拡大する方針。しかし、1~4人の小規模企業ほど「現状維持」の比率が高い。

○平成16年度と18年度を比較すると設備投資を予定している中小企業が増加。内容については「研究開発・市場調査」が上昇しており、若干ながら前向きな投資が増えていることが期待できる。

○20%弱の中小企業が設備投資の増額を予定。平成17年度実績比による設備投資の増減見通しについて、従業員規模の大きい企業ほど増額を計画する傾向がみられ、1千万円以上の大規模投資が多くを占めている。

○懸念材料は「原油などの原材料価格の上昇・高止まり」を上げている。

<総括>

総じて、売上などは回復傾向にあるものの、業種間、企業間の二極化が高まっている。金属仕入価格の高騰が、昨年ス

トックした利益を相殺する形として現れており、これまで以上に、経営を圧迫する要素となっている。

さらに、年金や社会保険料の負担増、定率減税の段階的廃止や消費税率の引き上げなど、個人消費の下押し要因には事欠かない状況にあるため、これらに金利上昇が加われば、景気回復のさらなる不安定要素となることが懸念される。

内閣府の調査でも、素材業種の景況感に慎重さがみられるのは、原油を中心とした原材料価格の高騰や、鉄鋼等素材商品の需給の軟化が原因と推測される。日銀短観による業況判断指数を業種別にみると、素材産業で低下が目立つ。即ち、原油や金属などの原材料価格が高止まりするなか、中間財や最終消費財などへの価格転嫁が進みにくいことが影響しており、外国為替市場で円安基調にあることが輸出業種にとっては追い風となっている。

今後の見通しとして、当面の受注状況は、依然業種又は企業間でまだら模様であるものの、緩やかな回復傾向は続くと考えられる。その一方で、素材業種の仕入価格は大きな上昇超幅を保っており、原材料調達コストが高まっていることを窺わせている。原油価格や非鉄金属市場及び長期金利の動向等が収益に左右されるため、引き続き注視する必要があると考えられる。

景気の見通し・意見等

【好転】

- ・当面は良いと思う。
- ・自動車関連を含め、家電・IT関係は今後も上向きに景気回復に進むだろうと期待。・今年上半期は上昇基調に。
- ・今年から来年にかけて好況感は継続すると思う。ただし、過剰な景況は反動が大きいので、緩やかな上昇が望ましい。
- ・やっと上向きか。
- 「横這い、不明」
- ・今後の見通しは不透明 2社

【悪化】

- ・不況続く(不安)6社
- －好・不況業種がはっきりしている。輸出部品の需要がある業種と取引しないかぎり上昇は望めない。
- －受注の波が激しすぎる。不安定。
- －受注は順調、しかし最終メーカーからの値下げ要請は変わらない。また非鉄金属価格等の高騰によって素材等の代替が検討されないか不安。
- －サッカーW杯以降に減速か。
- ・自動車部品などが以前より出てきたが、携帯は極端に落ちた。二極分化が激しい。
- ・景気回復は大企業が中心で、各材料の値上げは深刻な問題に。
- ・仕入価格の大幅上昇が受注価格に転嫁できない。

【その他】

- ・経営者の高齢化で廃業する企業と時流に乗れて後継者に恵まれた企業とに分化。

経産省・中小企業庁「元気なモノづくり中小企業300社」刊行

経済産業省・中小企業庁は、去る4月11日、我が国産業の国際競争力を支え、経済活力の源となっているモノ作り中小企業の姿を、広く国民に対して具体的な姿でわかりやすく示すことにより、これら中小企業のやる気を一層引き出すとともに、若年者を中心にモノ作り分野に対する関心を持つきっかけとなるようお願い、「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」を冊子にとりまとめ刊行した。

300社の選定は有識者による検討委員会が行った。選定では開発が困難な革新的技術をもつこと、産業・生産活動や生活への影響度が高い技術を持つことなどが基準となった。

内訳は世界市場で高いシェアを持つ企業98社、国内市場を中心に高いシェアを持つ企業98社、ニッチ分野に特化する独創的かつ高度を持つ企業104社となっている。

めっき関係では東京都のエビナ電化工業(株)、神奈川県東新工業(株)、関東化成工業(株)、静岡県(株)巧工業、福井県の清川メッキ工業(株)、岩手県の(株)東亜電化が選ばれた。

経済産業省では、5月8日(月)から6月16日(金)までの6週間にわたり、経済産業省本館1階ロビーにおいて、今回選定されたモノ作り中小企業の製品や部品を、地域ごとに一週間の入れ替えで展示、紹介している。



エビナ電化工業(株) 海老名信緒社長
各種プラスチック、高性能ガラス、セラミックス、レアメタル合金等の新素材やめっき加工が難しい素材への高い表面処理技術を持ち、常に研究開発と投資を続けて業界の一步先を行く企業。

東新工業(株) 山崎慎介社長
自社で開発した加工技術と生産設備を用いて、低コスト、高品質、短納期が要求される微小電子部品を世界的技術レベルで μm オーダーで加工している。

関東化成工業(株) 福原國晃社長
めっきをコア技術とした、デザイン、設計、金型、成形、塗装、組立ての一貫生産を行う樹脂製品の総合メーカー。

(株)巧工業 渡邊光弘社長
独自のめっき技術で微細化する電子機器用ねじを電解研磨する。バリ取りを正確・安価かつ大量に行うことに成功し、ハードディスク用として世界シェア50%以上を獲得している。

清川メッキ工業(株) 清川忠社長
ナノレベルのめっき接合技術をいかして、小型化する電子部品の接合に挑戦し、携帯電話用チップ型電子部品の電極めっきでは国内トップシェアを誇る。

表団協セミナー

めっきデータベースを活用した将来の中小企業像 廣瀬伸吾氏

(独立行政法人産業技術総合研究所 ものづくり先端技術研究センター)

第 16 回表団協セミナー（主催：表面処理団体協議会、全国鍍金工業組合連合会、(社)日本表面処理機材工業会、(社)表面技術協会）が平成 17 年 11 月 9 日、東京理科大学「森戸記念館」で開かれ、廣瀬伸吾氏((独)産業技術総合研究所 ものづくり先端技術研究センター)が「めっきデータベースを活用した将来の中小企業像」をテーマに、各種めっき皮膜特性データやトラブル対策事例など、中小企業への技術支援を目的として開発した「めっきデータベース」について説明するとともに IT(情報技術)を活用した将来の中小企業像について講演した。講演概要を紹介する。

1. はじめに

日本の経済基盤を支えてきた「ものづくり製造業」は、長引く平成の不況に加え、グローバル化の進展に伴って、様々な問題を抱えてきた。その中でも、「2007 年問題」として言われているように、第一ベビーブームの世代が一斉に退職する年が迫ってきており、製造業の基盤をなしてきた熟練作業者の技能やノウハウの消失によりものづくりを維持・継承していくことがますます困難になることが予想できる。このため、高いレベルの基盤技術や技能を維持、継承、発展していく仕組みを構築することが、早急に我が国にとって必要であると考えている¹⁻⁵⁾。その様な中で IT(Information Technology:情報技術)を中心とした技術革新が進みつつあり、MT(Manufacturing Techno



logy: 製造技術)と IT との融合による技術革新が、今後の製造業の重要な役割を果たすといえるであろう¹⁻⁵⁾。

一方、日本の中小製造業者は、これまで技術上の問題や課題がある場合、地元の公設試験研究機関等に相談することが多く、これらの公的機関の役割は重要であったといえる。公的機関は企業との守秘義務を守る立場から大部分表に現れることはなく、業務活動が一般の方々に十分に知られているとは言いがたい。しかしながら、全国で約 180 ヶ 所ある鉱工業系公設試験研究機関を合わせてみると、年間約 35 万件の技術相談、約 11 万件の技術指導という膨大な数に対応しているとの報告²⁻³⁾があることから中小企業に対する公的機関の役割は今後も大きいといえる。

これら技術相談などから得た中小製造業者の要望(ニーズ)は非常に多岐にわたっているが、その中でも近年強い要望があったのが、「深い知見を持った人物とすぐにコンタクトしたい」、「過去のデータや知識を蓄積・共有・利用したい」、「設

計現場や製造現場の要求をもっと理解したい」、などについてである。そのため、こうした要望に答える仕組みを構築し、公的機関の業務内容も変えていく必要がある。特に、パソコンの家庭内普及率が7割を超えるインターネットの爆発的な利用者の増加や、ビジネスや製造生産現場が変貌していることを考えると、公的機関の業務のあり方も、自らの業務や成果をアピールすることも考慮し、ITを活用した内容を考慮していくことが必要ではないかと考えている。

本発表では、アンケート調査により浮き彫りになった企業の現状や意識調査、技能伝承への取り組みなど、受託企業の実態も紹介する。また、テクノナレッジ・ネットワーク⁶⁻¹⁰やめっきデータベース^{⑩11-12}など、公的機関による中小企業を広く支援することを目指して開発した幾つかのインターネットベースのソフトウェアを紹介する。さらに、それらのソフトウェアを活用した将来の中小企業像についても述べる。

2. テクノナレッジ(技術知識)・ネットワークの構築

今から6年前になるが、中小企業庁経営支援部技術課と工業技術院機械技術研究所(現産業技術総合研究所)が協力し、「テクノナレッジ(技術知識)・ネットワーク」の構築 および公開を行い、現在までに総計500万件を超えるアクセスが行われている²⁻¹⁰。

これは、インターネットを活用した新しい情報と人のネットワークで、中小企業者に対して日常的な業務として技術相談等の支援を行っている都道府県の公設試験研究機関、国立研究所等の研究者・

技術者の参加を得て構築したものである。

テクノナレッジ・ネットワークには、いくつかのソフトウェアコンテンツを有している。例えば、Q&A データベースがその一つである。それは、公設試験研究機関が日常業務で行っている技術相談や技術指導の中には、非常に良いQ&Aを行っている場合があり、それらをQ&A 事例データなどにしてテクノナレッジ・データベースに登録して、広く一般に公開する。こうすることで、中小企業者はインターネットを介してテクノナレッジ・データベースを検索することで、ものづくりの分野等で抱える技術的な問題点について、過去に同様の問題を解決した事例の技術情報を入手することが可能となる。

また、Q&A データとともに、各研究機関で働く研究者や組織のデータにより、公設試験研究機関等で働く研究者・技術者のポテンシャルを全国に広く示すとともに、中小企業がファイル作成者に詳細について問い合わせやすい環境を提供できる。こうした技術相談や技術指導の内容やその対応法については、当該質問をした中小企業に対してのみならず、他の多くの中小企業にとっても有益である場合が多い。

さらに、直ちに回答することが困難な問題については、参加各機関が閲覧できる電子掲示板を使って公設試験研究機関から質問を投げかけ、あらかじめ回答を行う専門家グループが質問に回答することにより、高度で専門的な分野の回答を中小企業者に提供する。そうすることで、これまでは個人的な関係や調査により回答を得ていたものが、多くの知識・知恵

を集約して組織的に解決策を見いだすことにより、高度で専門的の回答を中小企業者に提供することを可能にしている。

特に、中小企業を取り巻く技術的課題が、絶えず専門化・高度化・総合化しつつある状況にあっては、全国各地の公設試験研究機関がこれまでに対応した相談事例などをデジタル化し、ものづくりに携わる者が相互に共有していくための知識管理(ナレッジ・マネジメント)が、新たな技術的課題の解決のためのヒントを得たり、創造的のものづくりに役立てるのに効果的であると考えている。

3. 技能と技術の関係とめっきデータベースの開発

中小企業の製造プロセスに関わるところでは、現場の技能と技術のどちらか一方があればよいというのではなく、両方があって互いに補完し合いながら相互に高め合うことが行われてきた。例えば、技能をモデル化して技術に代替し、その結果、溶射装置や観測技術を開発しても、その装置を使いこなすためには今までにない技術が求められ、そのことで作業者の技能がレベルアップしていく。さらにその技能を技術化して装置類を作り、また使いこなす。こうした技能と技術の関係は、製造プロセスにおいて、「設計・段取り」、「加工・組立」、「検査」、「知識(評価)」という4つの要素でスパイラル的に向上する循環構造を有しており、ものづくり力全体を拡張するためには、技術・技能の発展メカニズムを刺激させて、各過程を発展・拡張させる試みが重要ではないかと考えている²⁻⁴⁾。

ここで、「知識(評価)」の要素を取り上げると、学問的に体系化した科学技術的

知識などをデータベース化してユーザに公的な技術として提供しつつ、過去の知見や経験の積み重ねとして個人に蓄積された現場知が技能を分析し、客観化・体系化・マニュアル化することで最終的にはデジタル化技術に置き換えることを目指すことが必要であるといえる。このような考えを基本として、筆者はめっきデータベースの開発に取り組んでいる¹¹⁻¹²⁾。特に、中小製造企業者に役に立つソフトウェアの構築を意識し、開発においては、連名者である各県の公設試、大学の有識者と議論した結果や、中小受託加工企業へのアンケート調査結果¹³⁻¹⁴⁾、データベース利用者からの意見などを反映する形で産学官連携形式で進めていくことを心がけた。

次節以降では、めっきデータベースの現在既に公開しているいくつかのコンテンツについて紹介する。

4. めっきデータベースコンテンツの紹介

4.1 データベース利用者登録方法

めっきデータベースは、産総研ものづくり先端技術研究センターが開発した¹⁵⁾加工分野を対象とした「加工技術データベース」のデータベースの一つであり¹¹⁾、利用希望者は、加工技術データベース・ウェブサイト(URL:<http://www.monozukuri.org/db-dmrc/index.html>)にアクセスし、利用申し込み手順にそってIDとパスワードを受け取ることにより、¹⁵⁾加工分野すべてのデータベースを閲覧利用できる。

(利用に関しては現在無償。)

データベースに登録されている技術知識データは、著作権を有する組織および

著者に対してデータベースへのデータ利用の許諾を取り、出典をかならず表記する形で Web 上で公開している。

また、著作権が切れる 50 年以上前のデータについても出典先をオリジナルまで遡るようにして表記することにつめている。これにより、利用者が著者の権利を守りながら安心して技術知識データを閲覧できるようにしている。

4.2 アニメーション(動画)を活用した入門者向けめっき技術知識情報

めっきデータベースのコンテンツの一つに、アニメーション(動画)を活用した入門者向けめっき技術知識情報を提示するプログラムを用意している。

これは、めっき法(電気めっき、無電解めっき、溶融めっきなど)、皮膜評価法(ピッカース硬さ、引き剥がし試験法など)、めっき腐食過程(ブリキ、トタン、二重ニッケルなど)など、動画や写真などを組み合わせるビジュアル化してできるだけ簡単に技術知識情報を提供することにより、利用者がめっきに対する知識を深めたり、作業現場でのポイントや技能者の加工ノウハウ、ちょっとした工夫などが理解できる。これは、初学者にとっても教育用プログラム(e-learning)として有効であり、めっきのことを学ぶ教材の一つとして活用してもらえると考えている。

4.3 文章を主体としためっき関連中・上級者向け技術知識情報

中・上級者を対象として、テキスト文章を主体としためっき上級向け技術知識情報を提示するコンテンツも用意している。各種便覧で表示されている皮膜特性を比較したり、めっきの歴史やめっき浴ごとの特徴など、単に物性データをまと

めるだけでなく、経験によって得られた知見などもできるだけ含めて閲覧できるように試みている。

4.4 めっき関連用語集

電気めっき用語(JIS H 0400)・(ISO 2080)など、めっきに関わる用語を閲覧できるコンテンツを用意している。

「あ行」から「わ行」まで行ごとにまとめられた表示リストの中から、「ま行」に表示されている「マイクロクラッククロムめっき(microcracked chromium coatings)」という単語を見ると、「微細な割れが均一に分布されるように施すクロムめっき。耐食性向上の目的に利用される」、といった用語の説明を閲覧することができる。

4.5 計算プログラム集

計算プログラム集では、めっき析出量の計算や、温度や圧力の単位換算など、めっきに関わる計算プログラムをいくつか提供している。

めっき材料をプルダウンメニューから選択すると、材料の変化に合わせて、計算に利用されるパラメータが変化する。そして、電流密度、めっき効率、析出時間を入力して計算ボタンを押すことで計算結果が画面上に表示される。このとき計算式は係数も含めてすべて画面上に表示されるので、利用者は計算過程を理解しながら計算結果を得ることができる。

4.6 機能別めっき加工条件・加工事例データベース

めっきは、めっき皮膜を素地にコーティングすることにより、製品の表面を硬くしたり腐食に強くしたりなど、様々な機能を製品表面に付与することができる。その際に、どのような種類の材料が使わ

れ、また、どんな皮膜造特性を示すかは、めっきの専門家に問い合わせたり、教科書などの文献を詳細に調べないとわからない。そこで、機能別にめっき事例データを整理して、加工事例や皮膜特性、およびそのめっき条件を提示する機能別加工条件・事例データベースを構築した。

Web 画面上において、利用者がまず皮膜で得られる機能(機械特性、防食特性、耐熱特性など)から一つを選択し、次に表示される画面において、各種皮膜特性をプルダウンメニュー(例えば、機械特性なら、硬さ、引張強度、伸び率など)から一つを選択し、さらにプルダウンメニューによりめっき材料(Ni およびその合金、Cr およびその合金など)から一つのめっき材料を選択して決定ボタンを押す。それによって、表示された事例データリストから閲覧したいデータを選択することで、皮膜特性を縦軸として、めっき条件パラメータを横軸とした図が表示されるとともに、各種めっき条件(めっき法、めっき浴、浴温度、電流密度など)と出典やコメントが自動的に提示される。これを利用することで、中小企業が付与機能別に素早く加工条件や加工事例を知ることができる。

4.7 製品カテゴリー別溶射適用事例データベース

めっき法は、自動車部品から家庭用品、アクセサリまで幅広い範囲に適用されている。これらのめっき適用事例を製品分野ごとに整理・体系化し、製品に関わる技術情報を提示するデータベースを作成している。

画面上に表示されためっきを適用した製品別のカテゴリー(自動車・車両部品、

機械 部品、電子部品、電気製品、家庭用品、アクセサリ)から一つを選択すると、その適用分野における応用例がアルバムとして表示される。次に、その製品アルバムリストから一つの製品を選択することで、めっきを適用した製品の写真が表示されるとともに、めっき目的、皮膜構造図、素地、めっき材料などのめっき条件が示され、かつ出典やデータの出所、コメントなど、製品事例および関連した詳細データが表示される。

これを利用することで、利用者は(便覧や教科書などを見なくても)めっきが適用された製品事例を知ることができる。

4.8 トラブル対策事例データベース

めっきに関する様々なトラブル(欠陥)とその原因、および対策法を提示するコンテンツを用意している。めっき欠陥断面写真データベース、Ni-Cr めっき膜のはく離断面写真とそれについてのコメント、観察するために使ったエッチャント、出典などが表示される。項目の中から、めっき材料(種)とトラブル内容を選択する。めっき皮膜からみたトラブルとその解決法を提示する。めっき皮膜材料およびめっき浴を選択すると、トラブル(欠陥)の項目のリストが表示される。そのうちの一つの欠陥を選択すると原因とそれに対する対策法がプログラムにより表示される。

4.9 中小受託加工企業へのアンケート調査結果

めっき受託加工中小業者を対象にして、企業がかかえるニーズや問題を把握し、技能者とはいかなる人物像であるのかを明らかにし、企業支援の観点からどのような内容のデータベースを開発・公開す

べきかなど、本ウェブサイトの開発に対する方向性を見いだすことを目的として実施した結果を閲覧できるように公開している。

図には、貴社(事業所)にとって有用性の高い技術知識情報はどのような内容かについての回答結果を示している。これより、「新規材料のめっき加工データ」が45社と最も多くの企業が必要と考えていることがわかる。次いで、「前処理の影響に関するデータ」(35社)、「金属めっき加工データ」(31社)、「トラブル解決事例」(31社)が求められていることがわかった。

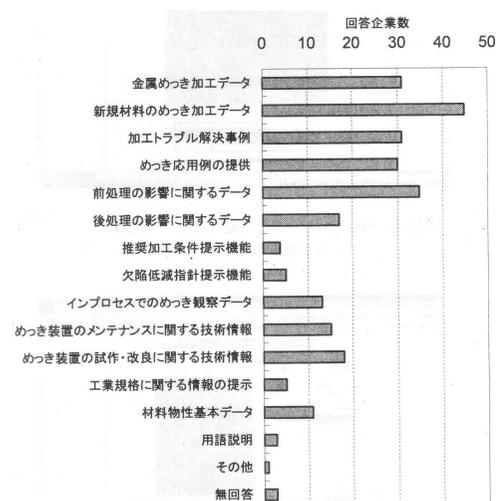


図. 中小受託加工業者がめっきデータベースに求める技術知識情報

5. おわりに

インターネットを中心とするネットワーク技術は、ビジネス環境や企業の形態を大きく変えている。公的機関の役割もそれを受けて連携の形や業務内容を変えていくことが必要になってきている。

産総研が公開しているテクノレッジ・ネットワークは、世界に類のない新

しい連携体制を提示するもので、およそ全国の公的研究機関 5500 人以上の参加により形成された壮大な技術知識を結ぶネットワーク事業であり、現時点においてホームページのアクセスは 500 万件を超えている。

めっきデータベースにおいては、実験データ収集方法、データ利用許諾過程の簡素化、など考慮すべき点が多く、なかなか思うように進まず、難しさを日々感じている。しかしながら、中小製造業者の要求を聞きながら、産学官連携の名のもと長期間にわたってデータベースを維持・発展させていくことで、本当に利用者の役に立つことができると信じている。

そして、新しい IT(情報技術)ツールや人と情報のネットワークを活用した中小製造業が、自社の技術や技能の維持・発展を行い、21 世紀においても世界をリードさせることに一翼を担えればと考えている。

謝辞

本内容は、NEDO プロジェクト「ものづくり・IT 融合化推進技術の研究開発」として、中小企業庁技術課から委託を受けた産業技術総合研究所ものづくり先端技術研究センターが研究開発を行ったものである。中小企業庁、ならびに NEDO の関係各位に深く感謝の意思を示したい。

また、テクノレッジ・ネットワークの開発の際に協力していただいた中小企業事業団、現在の運営やデータの登録などを行っている産総研産学官連携部門地域連携室の方々、Q&A データをご提供していただいた方々に深く感謝の意を示したい。

さらに、めっきデータベース作成にお

いては、全国鍍金工業組合連合会を含めて多くの意見、要望などヒアリングを通じて意見交換を行いながら進めた。時には厳しく、時には前向きに、議論をしていただいた企業の方々に、この場を借りて、工業会の方々ならびに(および法人)に心より感謝の意を示したい。今後も企業の方に役に立てるというスタンスを取りながら、引き続き議論を繰り返してデータの増加とソフトウェア機能の拡充を行っていきたいと考えている。

最後に、日常的な研究業務において様々な形でご支援・ご指導していただいた、尾崎孝一氏(産総研ものづくり先端技術センター)、今村聡氏(同上)、大橋隆弘氏(同上)、野村吉彦氏(同上)、三木健一氏(同上)、森智子女氏(同上)、以上の方々に深くお礼を申し上げたい。

参考文献

- 1)ものづくり懇談会:「ものづくり懇談会」提言,(2000).
- 2)中小企業基盤技術研究会報告書、"中小企業の「ものづくり力」強化に向けた展望と課題"、通商産業省中小企業庁、2000年6月30日
- 3)"中小企業の新しいものづくり—IT時代の中小製造業の展望一、中小企業庁編、(財)通商産業調査会発行、2000年10月1日
- 4)中小企業庁技術課:ものづくり・IT融合化推進事業検討会報告書,(2001).
- 5)"連載モノづくり新時代 中小企業基盤技術研究会から 1-8"、日刊工業新聞、2000年7月26日、28日、8月2日、4日、23日、25日、30日、9月1日
- 6)テクノナレッジ。ネットワーク・ウェブサイト:<http://www.techno-qanda.net>

7)"企業庁テクノナレッジ・ネットワーク実証実験スタート"、日刊工業新聞、2000年11月22日

8)S.HIROSE,T.KOJIMA,S.ITO,S.FUJINO and A.HAYASHI,"Techno-knowledge Network-WEB-based Novel Public Service in Japan for Small and Medium Enterprises via the Internet",Proceedings of ITIT Symposium on Development Manufacturing Technology Infrastructure,Tokyo,Jan.31.2001, pp.77.

9)廣瀬伸吾:ものづくりとIT知恵の輪「テクノナレッジ・ネットワーク」,自動車技術会シンポジウム「技能を活かすITファクトリー」講演集,(2001)26-31.

10)廣瀬伸吾:加工技能とITの融合,トライボロジスト第47巻,第6号,(2002)469-476.

11)加工技術データベース・ウェブサイト:<http://www.monozukuri.org/db-dmrc/index.html>

12)めっきデータベース:登録商標産業技術総合研究所

13)廣瀬伸吾、松田五明、逢坂哲彌、小島俊雄:“中小受託加工企業へのアンケート調査でみるめっき業界の現状と将来像(第1報)—めっき加工の現状および競争力の源泉”全鍍連2月号(2004)13-18.

14)廣瀬伸吾、松田五明、逢坂哲彌、小島俊雄:“中小受託加工企業へのアンケート調査でみるめっき業界の現状と将来像(第2報)—現場の技能と企業情報化への対応”全鍍連3月号(2004)9-14.

葛飾区優良工場に (株)ヒキフネ認定される

葛飾区は平成9年度から毎年区内の「優良工場」「優良製品」「優良技能士」を認定し、顕彰しているが、今回平成17年度の優良工場として(株)ヒキフネが認定された。

優良工場は、葛飾区内で操業する工場のイメージアップを図ることを目的として、地域の中で活躍する優良な工場を表彰するもの。審査は、(1)「地域活動の協力など周辺地域社会に貢献していること。」(2)「従業員の安全対策など工場の操業環境や福利厚生が優れていること。」(3)「経営の近代化や製品技術開発など先進的な取り組みを行っていること。」などを基準に選定している。

優良製品は、葛飾区内製品を区内外へ広く普及させることを目的とし、区内企業が生産する優秀な工業製品を表彰する

もの。審査は、(1)「品質、性能、デザイン、独創性など製品の完成度が高いこと」(2)「消費者の需要度・価格など製品の市場性が高いこと」などを基準に選定している。

優良技能士は、区内事業所に長年従事し、極めて優れた技能を有するとともに、その模範的な技術と後進の育成をおし区内産業の発展に寄与している方を優良技能士として区が顕彰するもので、昨年度、電気亜鉛鍍金として太田亨一氏が認定されている。

(株)ヒキフネ (石川輝夫社長)

各種部品にめっきを施す工場。研究部門を設け、高度な技術により光ファイバーへのめっきや環境に配慮したデジタルカメラ等の部品のめっき加工を行っている。従業員の教育や外国からの研修生の受け入れにも力を入れているほか、毎年工場前で「ヒキフネ祭り」を実施するなど地域との交流を図っている。

=退職金づくりは〔中退共〕で=

あなたの会社は従業員の退職金をどのように準備していますか?「退職金制度を作るのは大変なことだ」とか「今ある退職金制度だけでは将来不安だ」とかお考えではありませんか?

しっかりした退職金制度を持つことは、優秀な人材の確保や従業員の労働意欲を高めるためにも重要なことです。

中退共制度(中小企業退職金共済制度)によって安全・確実しかも有利な退職金制度を手軽に準備できます。

昭和34年に「中小企業退職金共済法」に基づいて設けられた中退共制度は現在約39万企業、266万人の従業員が加入しており独立行政法人勤労者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部がその運営にあたっております。

春の叙勲受章者

政府は4月29日春の叙勲受章者を発表した。受章者は4047人で、めっき業界から次の方が受章の栄に浴された。

旭日双光章受章

笹野不二夫氏(全国鍍金工業組合連合会前会長・現常任顧問、愛知県鍍金工業組合理事長、白金鍍金工業㈱)

旭日小綬章受章

原 互氏(全国鍍金工業組合連合会前副会長・現顧問、長野県鍍金工業組合前理事長、大和電機工業㈱)



外な歴史があり、後程目で見ると日本フィルターの50年というスライドをご覧いただきたい。過去50年存続できた会社でも今後5年存続できる保証は何もないのではないかと、いまはそういう時代ではないかと感じている。ある意味では過去50年の舵取りより今後5年の舵取りの方が難しいのではないかと。会社を任せられた私は大変責任の重さを痛感しているが、ただ私には1つの信念がある。それは技術革新を怠らない会社は必ず存続できるということ、いま社内には新製品開発に向けたプロジェクトがいくつも動いている。新しい技術は必ずしも新しい製品に結びつくとは限らないが、私は開発に携わる技術者に製品として完成出来ないことを恐れてはいけないと言っている。恐れるべきは失敗を恐れて新しい技術に挑戦しないことだと、仮に実を結ばない技術であっても、別の製品で生きることが幾らでもある。重要なことは社内に沢山の技術を蓄積することで、お客様の要求があったときにすぐに応えられる技術を取り出して提案することである。お客様が新しい技術に挑戦される。そのために日本フィルターも新しい技術に挑戦し続けていきたい。現場での要求、ご要望、無理難題でも是非当社にぶつけて頂きたい」と挨拶をした。

来賓として、東京中小企業投資育成(株)宇佐美社長、(社)表面技術協会・棚橋純一会長から祝辞があり、(社)日本表面処理機材工業会・奥野勝義会長の乾杯音頭で祝宴に入った。

日本フィルター(株)50周年祝宴

日本フィルター(株)(橋本ひろみ社長)は去る平成17年11月15日をもって創立50周年を迎え、長年にわたる取引先の支援に対して感謝の意を表したいと、4月12日(水)午後4時30分から横浜市西区みなとみらいのヨコハマ グランドインターコンチネンタルホテルで取引先等300名を招いて盛大に祝宴を開催した。

始めに橋本ひろみ社長は「昨年5月に私の父である康彦会長が亡くなり、1年も経たずにこのような会を開くことが気になったが、ただ50周年は盛大に開催してほしいという父の強い遺志であった。来月の1周忌には墓前に50周年は大勢の方にお越し頂き無事に終了することができたことを報告したい。50周年の会を私なりに、2つのことを目的にしようと考えた。1つは50年存続できたことはみなさんのご支援があったればこそと、この機会に社員一同深く胸に刻み、深い感謝の気持ちをお示しすることが第一の目的である。もう1つはこの機会にもっと日本フィルターのことを知って頂きたいことである。長い付き合いだから良く知っているよと言われるかもしれないが、実はお客さんもご存知ない意



そば処

板倉富美子(城南支部)

知人が定年後の第二の人生に、そば処を新小岩駅の近くに開店した。彼はある商社の長野県の長野営業所所長として長い間単身赴任をしていた関係から余暇を利用して、そば打ちの技術を取得し、趣味が本業となったのです。そば粉をはじめ酒類も全て信州より取り寄せ十割そばと信州にこだわって店名も中山道と命名。たかがそば、されどそば、そば粉の選び方、挽き方、打ち方、伸ばし方、切り方、茹で方、すすぎ方、気候の温度差、食べるまでの時間の变化等等、そばがこんなにも繊細で微妙で神経質な食べ物だったとは思いませんでした。



12月26日
オープン!

蕎麦粉もお酒も
信州産に
こだわりました

御来店を 心より
お待ちしております

手打十割蕎麦
中仙道

営業 AM11:30 ~ PM9:00
※年末年始、営業いたしません

葛飾区新小岩 2-4-10
tel.03-3655-8283

会社の近くに行きつけの、そば処「紫仙庵」があります。ここは目黒の閑静な住宅街の一角にひっそりと佇む隠れ家風なちょっと小粋な空間です。

紫仙庵は常陸秋蕎麦茨城県水府村産を使用、両店とも挽きたて、打ちたて、茹でたて、採りたて、の四たての十割そばで勝負しています。

そば焼酎の蕎麦湯割りもいけますよ。



JR・南北線・三田線目黒駅より徒歩16分
東急バス(大岡山小学校行き、三軒茶屋行き他)
元競馬場下車 目黒通り「油面」交差点を左折 徒歩5分

そば懐石もあります。庭を眺めながら一枚のせいろうそばを味わう。心も癒され至福のひとつときです。麺類と言えばラーメンが主流の現代ですが、日本古来のそば好きの皆様一度ご試食ください。

「中仙道」葛飾区新小岩 2-4-10

TEL03-3655-8283

営業 AM11:30-PM9:00

「紫仙庵」目黒区下目黒 6-6-3

TEL03-3712-8555

昼の部 AM11:45 一蕎麦終了まで

夜の部 PM6:00-8:00(要予約)

定休日：月曜日、火曜日(蕎麦打ち教室)

<http://www.shisenan.com>

多目的コホート研究(2)

厚生労働省研究班による多目的コホート研究は、1990年に始まり2005年現在も追跡調査が続いている。「多目的」という意味は、さまざまな病気の原因究明と、それぞれに対する有効な予防法の開発を目的とするということ。国立がんセンターの予防研究班に事務局を置き、他施設と共同で、がん、脳卒中、糖尿病などの研究を実施している。

たばこと胃がん

たばこを吸う人は、吸わない人よりも胃がんリスクが高くなります。

多目的コホートの男性では、たばこを吸うグループの胃がんリスクは、吸わないグループと比べて1.7倍高くなりました。胃がんの種類別には、特に分化型でたばこの影響が大きいことがわかりました。

たばこと大腸がん

たばこが大腸がんの原因かどうかは研究結果が分かれるところですが、多目的コホートでは、たばこを吸うグループの大腸がんリスクは、吸わないグループの1.4倍になりました。男性の大腸がんの22%は、たばこを吸っていなければ予防できたものと考えられます。

つ
ま
ま
坂

G. W. の過ごし方



野田光昭(本所支部)

TVで観ていたら、ディズニーランド開園前の物凄い行列が写った。上空からの映像で、蟻のような帯が幾筋もうごめいている。

初孫が8月、次の孫が9月と、いっぺんに2人出来た次の年のG. W. にディズニーランドに行った。妻や子供達は何回も行っていたが、私と1才未満の孫2人のディズニーランドデビューとなった。娘が待たずに乗れる予約の手筈をしてくれ、ボーッと並ぶよりずっと多くの体験が出来た。

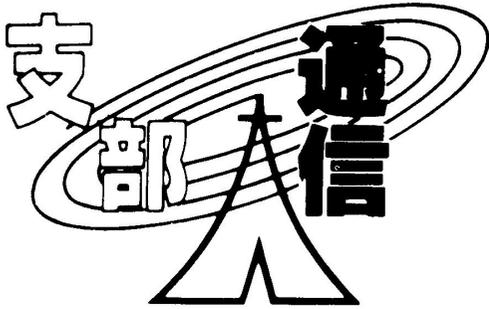
ディズニーランドに限らずどこもかしこも凄い人出だが、最近は休みの取り方も多様化し、道路事情も変わり、少しは緩和されている。子供達が小さい頃は、仕事の関係でG. W. か、夏休みしか旅行が出来ず、毎年苦労した。最高は軽井沢に行くのに7時間かかったこともあり、よく小さいのに車の中で我慢していたと思う。歌ったり、クイズをしたり、すれ違う車のナンバープレートが次は何色かを当てたりして遊んでいた。

さて、今年は筍掘りに明け、筍掘りに暮れるG. W. になりそうだ。千葉白井の亡き両親の別宅だった竹林に、毎年筍が生え、親戚も友人も楽しみにしている。

前々から次兄と下準備のため、不用な竹切りをして燃やしたり、友人が芝刈機で草を刈ってくれたお陰で、筍は大豊作。異業種仲間との恒例の筍掘りパーティーも大成功だった。

次の日は二男家族を連れて行った。聞けば前日、千葉成東の苺摘みもしたらしく、5、3、1才の孫の逞しさに驚く。おもちゃのスコップ持参で、歓声をあげながら筍の回りを掘っていた。

ふっと、亡き父と私が掘った筍に、幼かった子供3人が歓声をあげるシーンが頭に甦った。



■城北支部

平成 17 年度定時総会

城北支部(今泉好隆支部長)は4月25日(金)午後6時からサンパール荒川において平成17年度定時総会を開催した。

今村和則総務の司会により、高松俊和副支部長が「今泉支部長が就任して丁度1年になる。当初は右往左往して大変だなと感じていたが、最近は落ち着いて支部長の風格も出てきた。支部長はみなさんから意見を頂いて本部なり関係方面に働きかけてより良い支部にしていくと話

しており、役員一同も全力で支部長を応援していくので支部員のみなさんには一層のご支援をお願い申し上げます」と開会の挨拶。今泉好隆支部長は「お忙しい中を多数のご参集を賜りお礼申し上げます。支部長を拝命して1年になるが、この間無我夢中でやってきた。開会挨拶でも話があったが、落ち着かない日々が続いたが、最近は落ち着いてきた。支部長となり色々勉強させて頂き、自分のためにもなったと感謝している。就任当初は支部員54社であったが、この1年で残念ながら4社脱退、現在50社となった。設備が故障して大きな費用をかけられないなど色々な事情がある。日本列島も西が元気で東がそれほど元気がない。天気図でいえば西高東低で関東は真冬という話を聞いたが、来年の総会には1社も欠けることがないように切に願っている。これから議事に入るが慎重審議をお願いしたい」と挨拶した。

議長選出は司会者一任となり大和田博相談役が選ばれ、議長はまず支部員50



社のうち出席 41 社、委任状 9 社により有効に総会が成立することを報告した。議事に入り、各議案を担当役員が説明し、それぞれ異議なく承認された。

事業報告 大和田昌宏総務

会計報告 茅野一彦会計

監査報告 中神脩会計監査

生命傷害共済会計報告 鈴木康之幹事

自動車・火災共済会計報告 須永操幹事

緊急時の連絡網

今泉支部長は「下水道局から緊急時に対応できるような連絡網を作ってほしいという要請を受けて作成したもので、この連絡網の手順に従って迅速に対応して頂きたい」と説明した。

最後に上田浩司副支部長の閉会の辞で総会を終了、引き続き二部懇親会に移った。大和田昌宏総務の司会により、野上敬副支部長が「今年も頑張っていこう」と開会の挨拶。今泉支部長は「めっき業界にはほう素ふっ素等の暫定基準、亜鉛規制強化、土壌汚染問題などが山積しているが、ご臨席頂いた大村理事長から最新情報をまじえてお話を頂けるものと思う。限られた時間であるが、楽しく過ごして頂きたい」と挨拶した。

来賓として大村功作理事長は、「総会が滞りなく終了したことをお祝い申し上げます。組合運営では従来通り 4 つの柱を中心に活動しているが、今期特に土壌汚染問題に対しては業界の方向付けを行いたい。もう 1 つは支部の再編を行いたいと考

えている。人数の少なくなった支部があり、今後どういう方向が良いかをみなさんとともに考えていきたい。環境問題ではほう素ふっ素の暫定基準、亜鉛規制強化問題に対して全力を挙げて活動している」と組合活動を説明すると共に全鍍連会長として全鍍連財政再建のための活動、都中央会会長として各界に広くめっき PR を行っているなどを挨拶した。

仁木久之青年部会長は「今泉支部長と同じように昨年田中前会長から引き継いで 1 年になり、色々な行事をこなしてきたが、残念なことや悔しいことなど色々あったが、より良い青年部会を目指して今年 35 周年や技能検定試験への挑戦等を進めていくつもりでご支援をお願い申し上げます」と挨拶した。

野上栄一相談役の乾杯音頭で懇親会に入り、須永京子区議会議員の挨拶を頂くなど、なごやかな歓談が続いたあと、定刻、来賓、相談役が壇上に上がり篠根健一常任理事が中締め、田村卓也副支部長の閉会の辞をもって懇親会を終了した。



■城北支部

ゴルフコンペ

城北支部(今泉好隆支部長)は4月9日(日)に、青年部J Jクラブと共催のゴルフコンペを土浦インペリアルゴルフクラブにて開催した。当日参加したのは15名。吹く風もすがすがしくまさにゴルフ日和のなか、参加者の集合が良くコンペ



開始が30分も早まったが、4組に分かれて問題なくスタートできた。コンペ終了後は東京に戻り、車を自宅に置いてパーティー会場の三河島春駒に集合した。優勝は同率首位の田島一夫氏、篠根良明氏が惜しくも同率2位であった。また、J Jクラブの取り切り戦は出席率の良い今泉好隆氏が制した。夜までパーティーは続き親睦を深めた1日であった。(今村和則)

■城北青年部会

平成17年度定時総会

城北青年部会(仁木久之会長)は3月23日(0)午後6時30分より北区王子の北とぴあ8階で、現役会員、OB会員、名誉会員を合わせて27名が出席し、平成17年度定時総会を開催した。

はじめに仁木会長より、会長就任から1年を振り返っての話題とそれに続く今期への抱負といった挨拶が行われた。続いて、今泉好隆支部長より「仁木会長就任から早いもので1年が経つ。1年はあっという間に過ぎてしまう。時間を大切に！」と挨拶をした。総会は皆様のご協力のもと何事もなく無事に終了した。

その後、北とぴあ内の15階東武サロンにて懇親会を行った。海野吉正相談役が「今年青年部会が技能検定試験にチャレンジするという。大変喜ばしいことである」と挨拶したあと、乾杯の音頭をとった。終始和やかなムードのなか篠根健一相談役の中締めにより終了した。(文・桜井隆司)



■中央支部

定期総会開催

中央支部(木下好雄支部長)は4月28日(金)午後6時から上野精養軒で平成17年度定期総会を開催した。

はじめに司会の石井徹夫総務が支部員31社中、出席26社、委任状5社をもって有効に総会が成立することを報告した。新井富保副支部長の開会の挨拶のあと、木下支部長は「お忙しい中を多数のご出席を頂き感謝申し上げます。また支部員のみなさんにはこの1年間の支部行事への協力を重ねてお礼申し上げます。私も1年目でわからないこともあり、役員のみなさんからご指導を頂きながら本日までやってきた。さて、我々を取り巻く環境は非常に厳しいものがある。これまでも常に厳しさが続いてきたと思う。景気回復

が言われ、大手企業の好決算を発表しているが、我々にとっては微々たるものと思う。しかしながら小さいところは小さいなりに、穏やかながら若干回復しているのではないかと認識している。土壌汚染等の難しい環境問題を抱えているが、大村理事長はじめ組合執行部の努力により、東京都予算で調査費が付き、後ほど理事長から詳しい話があると思うが、たとえ金額が少なくとも東京都予算がついたことは今後の展望が開けるものと期待している。本部役員に感謝申し上げますとともになお活躍をお願いしたい。中央支部も一丸となって応援していきたい。残る任期1年があるが、精一杯頑張っていきたいと思うので、みなさんのご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。

議長選出は司会者一任となり、東松国雄顧問が選ばれ議事に入った。各議案を担当役員が説明し、それぞれ異議なく承



認された。

事業報告並に事業計画 横井紀一会計
会計報告 〃
監査報告 内山弘一監査
本部報告(技能教育委員会:石井徹夫委
員、環境・広報委員会:小嶋撰郎常任理事)



下平誠前常任理事、小嶋撰郎前支部長
はじめ退任役員に対して感謝を贈呈した。
来賓として、深谷隆司衆院議員は「振り
返ると、木下支部長のお父さんが元気な

時代、蔵前事務所の半分が空手道場であ
ったが、親子で空手を習いにきて頂いた
お付き合いもあり、昔を思うと感慨無量
である。業界発展のためにご活躍をお願
いしたい」と祝辞を述べた。

大村功作理事長は「私は理事長を7年務
めているが、就任当初事務局運営で小林
さんに大変お世話になり、確りとした事
務局を作ることができた。また、間部さ
んには立派な給与規程を作って頂いて円
滑に運営出来るようになり大変感謝して
いる。私も任期1年組合のために頑張っ
ていきたい」と祝辞を述べた。

保坂三蔵参院議員は「日本経済はものづ
くりをもって将来にわたり頑張っていこ
うというのが国是であり、ものづくりの
根幹をなすめっき業界の発展を祈念す
る」と祝辞があり、最後に斎藤功副支部
長の閉会の挨拶で総会を終了した。



■向島支部

総会開催

副支部長に石崎利一氏

向島支部(石田昌久支部長)は5月12日(金)午後6時から東京東信用金庫吾嬬支店で平成17年度定期総会を開催した。

深田稔副支部長の司会により、まず支部員43社中、出席者24社、委任状13社をもって有効に総会が成立することを報告した。向坪昭副支部長の開会の辞のあと、石田支部長は「お忙しいなかをご来賓、組合員多数のご出席を頂き感謝申し上げます。昨年はみんなで頑張っていこうと48社でスタートしたが、5社やめることになり非常に残念に思っている。私が支部長になり3年目になるが、毎年新年の色紙の真中にスローガンを書いている。1年目はとにかく動こうとムーブを標語とさせて頂いた。2年目はものごとの考え方、違う角度から考えることによって打開策があるのではないかとチェンジという標語を作らせて頂いた。今年は、めっき業界には十壌汚染など環境

問題を抱えているが、これを乗り越えるには個々の力では難しく、みんなが力を合わせていかなければ乗り切れないと“団結”という言葉を書かせて頂いた。マスコミ等によると景気が良くなったといわれるが、我々業界にはそういう実感はない。今年は団結していくことによって少しでも良くなったといえるような年にしていきたいと思う。こうした厳しい情勢の中で会費を値上げさせて頂き、支部運営も円滑に出来るようになってきた。ここ1~2年何もしないような年が続いたが、今年は支部員のみなさんに還元できるような事業を行っていきたいと考えている。今年も一生懸命頑張っていくのでご協力をお願い申し上げます」と挨拶した。

議長に池田敏則常任理事を選出して議事に入り、各議案を担当役員が説明し、それぞれ異議なく承認された。

平成17年度事業報告 大場章司副支部長
平成17年度決算報告 小篠 滋会計
会計監査報告 神谷清勝監事
平成18年度事業計画案 石田昌久支部長
平成18年度収支予算案 坂井正広会計



環境対策研究会報告 小篠 滋会計
若葉会報告 岩井孝之会長

平成 18 年度事業計画は次の通り。

小泉政権も 5 年を迎え、テレビ、新聞などのマスコミでは景気回復の兆しが出てきたと報道しているが、我々めっき業界においてはまだまだ実感が湧かない状態である。それどころか、金属価格の上昇、環境関係においては、土壌汚染の問題など我々の前には乗り越えなければならぬ問題が山積している。今年、新年の支部の寄せ書きのテーマに「団結 2006」と書かせて頂いた。我々が組合として、そして事業所においてこれらの問題を乗り越えるには、組合員同士または事業所においては社員が一丸となって団結し、前向きに考え、行動して問題を解決していくことが大切なことと考える。平成 18 年、向島支部は、景気、環境に関する情報を発信し、また事業を展開していく。ぜひ今年もみなさんで力を合わせ、組合と事業所の発展のため頑張りましょう。

1)環境問題への対応 (各種排水規制順守への協力、下水道局との懇談会開催、環境管理強化月間全体講習会の開催、土壌汚染対策についての行政からの財政支援、税制措置などの情報提供、環境委員会の開催)

2)主要会議 (総会開催、役員会：原則として月 1 回、三役会、監査会、顧問相談役会：年 1 回 4 月、表彰選考委員会)

3)部会の活動 (部会においては部長が中心となり、排水関係の諸問題、技術について親睦をはかりながら活動をお願いする。また本部理事会、支部役員会の情報も組合員に伝わるようにし、ご意見も頂きたい)

4)若葉会活動の育成と助成 (若葉会への助成金は今年も少ないながら予算計上した。厳しい経済状況のなか、会員相互の親睦を図り、将来役立つ事業を推進して頂きたい)

5)その他事業 (火災共済事務代行、団体生命事務代行、自動車保険事務代行、年金基

金・健保事務、新年会、支部全体懇親事業)

その他として、石田支部長から、本部理事並びに副支部長を務められた仲俣雅行氏が事業をやめられ、後任副支部長として石崎利一氏を選任したいはかり、拍手で承認された。本部理事については 5 月 26 日の総代会にはかることにした。



(向島支部賞を受ける山浦氏)

多年にわたり支部の発展に貢献した人を称える向島支部賞が山浦健司氏に贈られた。

来賓として組合本部の八幡順一副理事長、山崎昇墨田区長、沖山仁墨田区議会議長、小川幸男墨田区地域振興部商工部長、岡田栄喜東京東信用金庫常勤理事から祝辞があり、大場章司副支部長の閉会の辞をもって総会を終了した。

引続き二部懇親会に移り、佐久間隆太郎幹事の司会により、下條武毅相談役の乾杯音頭で祝宴に入った。なごやかな歓談が続いたあと、相談役全員の音頭で中締めを行った。

東京都中小企業の景況(4月調査) 東京都産業労働局商工部

◎都内中小企業の業況 DI は一服状態から脱し、再び回復に向かう動きとなった。業種別では、卸売業を除く3業種が改善した。前年同月比売上高 DI は全業種で改善し、特にサービス業が大幅に改善した。今後3ヶ月の見通し DI は、慎重さを増す動きからわずかながら期待する動きに転じた。

○3月の都内中小企業の業況 DI は▲25(前月▲28)と前月比3ポイント増で、一服状態から脱し再び回復に向かう動きとなった。業種別にみると、製造業は▲17(同▲19)と前月比2ポイント増加し、わずかに改善した。小売業も前月比3ポイント増と、同じくわずかに改善。サービス業は▲16と前月に比べ7ポイント増で改善した。卸売業はほぼ横ばいで推移した。

業種区分別でみると、製造業の「電気機器」が10.8(同▲8)と前月比16ポイント増え、大幅に改善した。卸売業では「日用雑貨」が、小売業では前月落ち込んだ「余暇関連」が大きく改善した。サービス業は「企業関連サービス」の改善が目立つ。

○前年同月比の売上高 DI は▲19(前月▲27)と前月比8ポイント増え、2ヶ月連続の改善となった。業種別では、全業種で改善がみられ、特にサービス業は▲13(同▲27)と前月比14ポイント増加し、大幅に改善した。製造業は前月比3ポイント増とわずかに改善した。また、卸売業、小売業も前月に比べ8~9ポイントの増加で改善した。

○当月と比べた今後3ヶ月(4~6月)の業況見通し DI は▲12と前月に比べ2ポイント増加し、連続して慎重さを増す動きからわずかながら期待する動きに転じた。業種別でみると、製造業は▲11と前月比4ポイント増加し、明るさが増した。他の3業種はほぼ横ばいに推移し、見方に変化はない。

編集後記

国立国語研究所が、分かりにくい外国語(カタカナ語)の言い換え例を発表しているが、サプリメント(栄養補助食品)など沢山のカタカナ語が日本語に深く浸透していることが分かる。毎日の新聞、ニュースなどにもカタカナ語が溢れており、現代用語事典等がないと理解できないことも多い。

産業界でもカタカナ語が多用されており、鉛フリーやソリューションという言葉をよく見る。ソリューションを辞典でみると、問題解決や溶剤等の意味が出ている。ソリューション事業というと、企業の問題解決事業ということなのか、英語にはフリーのように1つの語で自由や無いなど全く違った意味をもつ言葉が多く、日本人には意味が判然しないものが多い。パソコンやインターネット関係の用語もカタカナ語の集まりである。もともと英語圏で開発されたパソコンであり、英語のカタカナ読みからく

るものでしかたないところがあるが、これも分厚いパソコン用語事典がないと内容が理解出来ないことがある。固有名詞はしかたないにしても、これだけカタカナ語が多くなると読者を疲れさせる。

広報5月号

印刷 平成18年5月15日
発行 平成18年5月15日
(毎月1回20日発行 第39巻第5号)
発行所 東京都鍍金工業組合
〒113- 東京鍍金公害防止協同組合
0034 東京都文京区湯島1-11-10
Tel 03(3814)5621 FAX03(3816)6166
発行責任者 大村 功作
編集責任者 神谷 博行
印刷 スザキ企画 Tel 047(338)1222
〒272-0802 市川市柏井町2-1419-4
定 価 500円